

セミ図鑑

クマゼミ



体長(翅端まで): 60~68 mm 日本産では最大
体色: 体は黒色で光沢が強く、
新鮮な個体は金色の鱗毛でおおわれる
翅: 無色透明
鳴き声: シャア、シャア・・・ワシワシワシ・・・
主に午前中に集中して鳴く

アブラゼミ



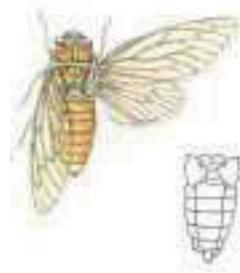
体長(翅端まで): 53~60 mm
体色: 体は主に黒色
翅: 前後翅ともに茶褐色不透明
灰褐色の斑文があり、部分的に
不規則な濃淡の縞模様ができる
鳴き声: ジー——ジリジリジリ・・・
午前中鳴いた後日中あまり鳴かず、
午後3時頃から夕方までなく

ニイニゼミ



体長(翅端まで): 32~40 mm
体色: 体は主に緑褐色で黒色の斑文があり、
微毛でおおわれる
翅: 前翅は暗褐色の雲状紋があり、
後翅は全体が黒褐色
鳴き声: チィ-----、ジィ-----
朝から夕方まで鳴き続ける

ヒグラシ



体長(翅端まで): 41~50 mm、細長くやや扁平
体色: 体は茶褐色の地に緑色と黒色の斑文が
あるが色彩変化が大きい
翅: 前翅は無色透明、淡褐色の斑文がある
鳴き声: カナカナカナ・・・
主に早朝や夕刻に鳴く

ツクツクボウシ



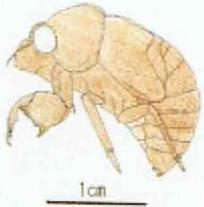
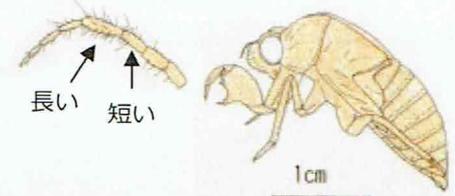
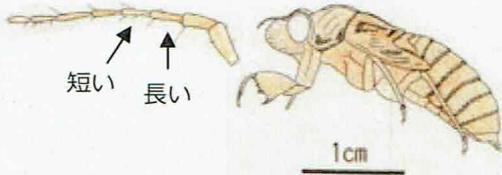
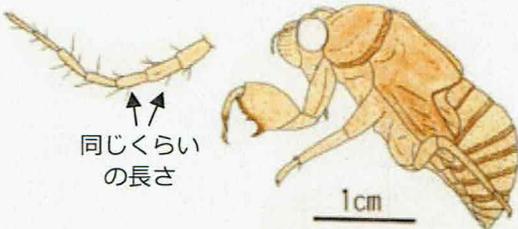
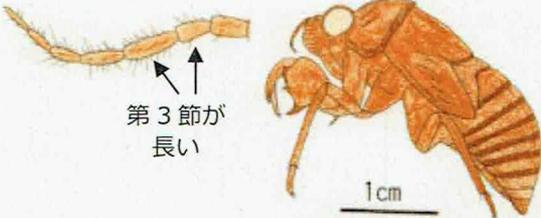
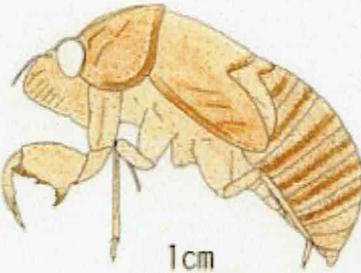
体長(翅端まで): 40~47 mm
体色: 頭部と胸は主に暗黄緑色で腹部の大部分
は黒色
翅: 無色透明で前翅に暗色斑がある
鳴き声: ツクツクボーシ、ツクツクボーシ
午前中からほぼ1日中鳴くが夕方
特に鳴く

ミンミンゼミ



体長(翅端まで): 57~63 mm
体色: 体は黒地に緑色の斑文があるが、
色彩斑文の変化がはげしい
翅: 透明で前翅の先端に暗褐色の斑文を
持つことが多い
鳴き声: ミーン、ミンミンミ——

セミのぬけがらの見分け方

	<p>全身泥をかぶる。丸っこい。 ニイニイゼミ</p>		
<p>小型 体長 24 mm以下 胸の中 12mm 以下</p>	<p>泥は一部 にしか つかない</p>	<p>光沢あり。 触角第4節は 第3節よりも長い。 ヒグラシ</p>	
	<p>光沢なし。第4節は 第3節よりも短い。 ツクツクボウシ</p>		
<p>中型 体長 6-32 mm 胸の中 約 15mm</p>	<p>触角の毛は少なく、第3節は 第2節と同じ長さで細い。 ミンミンゼミ</p>		
	<p>触角は毛深く、第3節は 第2節の 1.5 倍。 アブラゼミ</p>		
<p>大型 体長 33 mm以上 胸の中 18 mm以上</p>	<p>横から見ると 額の部分が大きくて角ばる。 クマゼミ</p>		

セミ カレンダー

	6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
ニイニイゼミ	チー														
クマゼミ				シャア シャア シャア											
ヒグラシ				カナ カナ カナ											
アブラゼミ							ジー、ジリ ジリ ジリ								
ツクツクボウシ							ツクツクオーシ…ツクリョーシ								
ミンミンゼミ							ミーン、ミン ミン ミン ミー								
	6月			7月			8月			9月			10月		

鳴き声が聞こえる時間帯(時);天候や気温によって少し変わります。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
ヒグラシ																	
ニイニイゼミ																	
クマゼミ																	
アブラゼミ																	
ミンミンゼミ																	
ツクツクボウシ																	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

参考文献

- 宮武頼夫(1992)『セミのおきみやげ』福音館書店
- 林正美(1984)『セミの生活を調べよう』さえら書房
- 石井実ほか編(1996)『日本動物大百科8 昆虫 I』日高敏隆監修, 平凡社